

第4回市民放射線被ばく量調査報告会次第

日時 平成25年3月10日(日)

午後1時30分～3時30分

場所 安達公民館

1 開 会

2 あいさつ

二本松市長 三保 恵一

3 放射線内部被ばく量調査(WBC)結果概要に係る講話・助言及び質疑

「放射線内部被ばく量調査(WBC)結果の見方、考え方、今後の注意点等について」

講師

茨城県立医療大学保健医療学部放射線技術科学科 教授 佐藤 斉先生
獨協医科大学国際疫学研究室福島分室 室長 准教授 木村真三先生

- (1) 椅子型 WBC 測定結果概要
- (2) 椅子型再測定結果
- (3) 内部被ばく量調査の経過
- (4) 今後の方針
- (5) 質疑

4 その他

5 閉 会

《放射線専門家チーム略歴》

佐藤斉(ひとし)先生：博士(医学)、専門は放射線管理学

医療被ばく、被ばく線量評価、正しい計測の為の遮蔽計算などが研究テーマ。これまでに核実験場周辺の被ばく調査(カザフスタン：セミパラチンスク)や、チェルノブイリ原発事故による汚染地域住民の被ばくと健康の調査活動に参加。現在、福島原発事故の初期被ばくの推定作業を進めている。

木村真三(しんぞう)先生：博士(地球環境科学)、専門は放射線衛生学

放射線医学総合研究所や労働安全衛生総合研究所勤務後、23年8月～獨協医科大学准教授。福島原発事故発生後の3月15日以降、放射線測定 of 草分け的存在、岡野眞治(まさはる)氏と共に車で福島県内各地を周り、その調査結果は、NHKのE TV特集「ネットワークで作る放射能汚染地図」として放映。

現在もチェルノブイリ原発事故の放射能汚染地域であるウクライナ国ジトームル州ナロージチ地区において住民健康調査を実施。その功績からジトームル国立農業生態学大学名誉教授を授与される。